

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 26 年 1 月 30 日 (2014.1.30)

【公表番号】特表 2013-512694 (P2013-512694A)  
 【公表日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-018  
 【出願番号】特願 2012-543271 (P2012-543271)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 6 日 (2013.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

応答細胞集団を増殖させる方法であって、

気体透過性装置内において刺激細胞の存在下で応答細胞集団の増殖を開始する工程を含み、

前記装置は、培地と、気体透過材料を含む増殖表面に静置された前記応答細胞集団と前記刺激細胞とを含み、

前記応答細胞対前記刺激細胞の比は 4 : 1 未満である、方法。

【請求項 2】

増殖表面積に対する前記培地の比が  $1 \text{ ml} / \text{cm}^2$  を超えている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

増殖表面積に対する前記培地の比が  $2 \text{ ml} / \text{cm}^2$  を超えている、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

最低位置から最高位置まで測定された前記培地の高さは少なくとも  $1.0 \text{ cm}$  である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

最低位置から最高位置まで測定された前記培地の高さは  $2.0 \text{ cm}$  以上である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記培地中の応答細胞および刺激細胞の混合集団は、前記増殖表面の面積  $1 \text{ cm}^2$  あたり 500,000 細胞未満の密度である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記培地中の応答細胞および刺激細胞の混合集団は、前記培地の  $1 \text{ ml}$  あたり 500,000 細胞未満の密度である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記応答細胞対前記刺激細胞の比は少なくとも 1 : 5 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記気体透過材料はシリコンを含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 10】

前記刺激細胞はフィーダ細胞である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 11】

前記フィーダ細胞は、照射されている、請求項 10 に記載の方法。

## 【請求項 12】

前記刺激細胞は、抗原提示細胞である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 13】

前記刺激細胞は、フィーダ細胞および抗原提示細胞を含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 14】

前記応答細胞は、前記増殖表面の面積  $1 \text{ cm}^2$  あたり  $7 \times 10^6$  細胞を超える細胞表面密度にまで増殖する、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 15】

前記応答細胞は、抗原特異的 T 細胞である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 16】

前記応答細胞は、腫瘍浸潤リンパ球である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 17】

前記応答細胞は、ナチュラルキラー細胞である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 18】

前記応答細胞は、制御性 T 細胞である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 19】

前記応答細胞は、初代 T リンパ球である、請求項 1 に記載の方法。